

ちやいなくいっく!

追加注文



咲夜「う…ん、ここは…」

美鈴「うふふふふ…いい格好ですね、咲夜さん…」

咲夜「ちょっと中国、これは一体どういうつもりかしら？」



咲「ふん、こんなのすぐに外し……え!?、力が…出ない？」

美「あはは、私の気を使う能力でちょっと咲夜さんの気の流れをいじらせていただきました…いつもと逆ですね♪」

美「さあ、見せてください・・・咲夜さんのかわいいところ♪」
咲「な、なにをするの、やめなさい、やめ、ひぁ、あんん！」
美「あら？ここはとっても良さそうですのに？」



咲「ひっ、あ、はああああ、んん！ふぁ、そんなぁ・・・」
美「こんなちょっとだけでこんなに・・・ひょっとして期待してました？」
咲「そ、そんな・・・こと、あるわけ、ひう！あ、私、はああ！」

咲「あ、いやあ、あああああああ…は、ああ、ふあ、あ…」
美「あら、もうイッてしまわれました？うふふふふ…
いつもの凜々しい咲夜さんもステキですけど」



美「こういう咲夜さんもとってもステキです…かわいい♪」
咲「いやあ…はあはあ、美鈴、もう…やめ…てえ…」
美「まだまだですよ？さ、今度はこっちにしてくださいな」

咲「え、な!?こんな、どうして……」

美「あら、お忘れですか?パチュリー様のところから例の薬を
ちょっと拝借させていただきました♪今日は私の番ですから……」



咲「そんな、はう、大き過ぎ、んんん!はぁ…ふぁ!」

美「ん、そう、先の方から少しずつ……いい、です、ああ!
そう、もっと深く…はぁ、はぁ…ああ、あん!」

美「はぁ・・・気持ち、いい・・・咲夜の、口に、モライキそう！
はぁ、んん！イク！！・・・出る！！」
咲「はう、うう、やぁ・・・んんんん！！！！」

びんびん
んんんん
んんん

ドロ
ッ

ポ
タ

咲「ケホ、はう・・・こほ、はぁ、はぁ・・・こんなのって・・・」
美「ふふふ・・・でも、まだこれで終わりじゃないですよ？」
咲「え、はう、ふああああ！！！！」

咲「あ、や、あああ、ふあああああああ、あっ、ひう、ん！」
美「あはは、すごい、です…奥で、締め付けて、ホントに
ん、はあ…咲夜さん、いっぱいしてあげますから」



美「それじゃ、そろそろ動き、ますね…ん」
咲「や、やあ、あっ…はあっ、そんな急に、ひん！
あふ、あああん、いやあ、激しす…ぎ、ひああああ！」

美「はあ・・・咲夜さんの、咲夜の膣内、すごい・・・絡み付いて・・・」
咲「あ、ふあ、む、胸え・・・当たって・・・あはあ・・・ン！」
美「ふふふ、そう言えば・・・咲夜は、胸のこと気にしてましたっけ」



咲「ふああ、ひう、いい、そんな、はう！気持ち、いいなんて・・・」
美「あん、んふ・・・こんなに乱れて、咲夜はいけないメイドですね・・・」
咲「そ、それは、ん～！美鈴、あなたが、こんなに、あ～！するから」

美「あら、そういうこと言うの・・・でも、ココをこんなにしてる
えっちな子は、いったい誰かしら？ねえ、咲夜・・・」
咲「あ、はあう、そんなこと、言われ、あふっ！てもお・・・」



咲「あん、あああ！いい、私い、もう、あああ、イツちやい、そう・・・」
美「はあ、ん、私も、もうすぐ・・・ああ、んく！」
咲「いっぱい、もう、ああ！お願い、もっと、もっとお！！」

咲「あふあああつ！イクッ、イツちゃう！！いやああああつ……」

美「んっ、咲夜っ、咲夜あ！！もう、ああ、出るっ！！！」

咲「あ、あああああ…いっぱい、いっぱい、出て……るう……」



美「はあ、あははは…咲夜…すごく、かわいい…」

咲「あうう…はあ、はあ…おなか、いっぱい…あったかい…」

美「もう…咲夜は、私のもの……」

中国「だって夢と想いが萃まる萃夢想なんですから」

咲夜「またさぼってるのかしら？」

中国「ひい!! さぼってません! ちゃんと仕事してます、ホントですよ!」



咲「ホントかしら? まあどちらにせよ分不相応な事は考えないことね」

中「ハイハイハイ!! 十分承知しております! (ガクガク)」

咲「それじゃ、また後で...フフフフ...」

◇ 萃香さんのお料理教室 - その 1 - ◇

※ 萃香が料理をするのではなく、萃香をおいしく料理いたします。

酔符「鬼縛りの術」

手始めに鬼の子をとっ捕まえましょう。実はココが一番大変です。寝込みを襲うなど反撃させないタイミングが重要です。生きが良い場合縛るなどして固定しておくこと。



酔夢「施餓鬼縛りの術」

下ごしらえとして、まずは剥いておきましょう。多少残しておくこと、後々に食欲をそそる程良いアクセントとなります。

萃香「うわっ!?何を、ってこらっ、待て、それは私の鎖で・・・」

はうらう、力が出せない～・・・」


萃香「ぐう、鬼である私に・・・えっ?ちょっと、ひあ!や、やだあ～!」

◇萃香さんのお料理教室 - その2 - ◇


～お召し上がりまでの簡単な手順～

~~妖鬼~~ ~~密~~
幼鬼 - 密 -

程よくほぐしますとよい感じに仕上がってきます。素材の味を十分に生かすため、他のよけいな味付けは行いません。あとはおいしく召し上がるだけでございます♪



お好みにより、盛り付けを変えたり、トッピング等を加えるなどしてもおいしくいただけますが、当方といたしましては、生のまま頂くことをお勧めいたします。なお、おかわりはいくらでもご自由にどうぞ。満足の行くまでお楽しみ頂くことができます。



萃香「はう、やあ、ふああ・・・もう、やらああ・・・んん!!」
萃香「ひぐっ!!は、や、ダメえ!!そんな、はうう!
もう、やめ・・・いや、ふあああああああああ!!!!」

◇ 萃香さんのお料理教室 - その3 - ◇

※片づけは最後までしっかりと行うこと

鬼符「ミッシングパワー」

パワー放出完了……
ご満足いただけましたでしょうか。
それではまた次の機会に……
フフフ…おいしく頂いたは
いったいどちらなのでしょうねえ？



萃香「はぁ、ンン…えぐっ……たくさん…ん、はう、
あ、はは…もうおなか、いっぱい……♪」

伝統の幻想ブン屋 射命丸 文



『東方文花帖』のみのキャラと思いきや続く花映塚にも登場の鴉天狗のブン屋さん。
移動速度は魔理沙をも上回りE×攻撃も強力となかなかの強キャラ。何気に1000年以上も生きてい
らしいが妹紅よりかは年下。つまり1000歳以上1300歳未済くらい。
見た目もかわいく今回一番のお気に入りキャラ。射命丸という変な名字のせいで写メールという通称が
広まりつつあるが意図的なんだろうなあ。みすちーともどもチキン扱い。
ちなみに俺は鳥肉好きです。もちろん花映塚の使用キャラは文とみすちーですよ？

三途の水先案内人 小野塚 小町



今回の従者はのんびりマイペース、仕事さぼり気味の三途の川の渡し守。さぼりを主人の間魔さまこと四季映姫さんに叱られまくり。間魔さまに鴉天狗、鬼やらで日本古来の伝統的妖怪で力のあるものはたいがい出揃ってきた気がする。あとは妖怪の総大将である「ぬらりひょん」でも出てくれば完璧かも。EX攻撃やボスアタックの大量の投げ銭や画面全体の吸震範囲とこちらもかなりの強キャラ。◎あたりじゃ勝てねえっす。立ち絵の身長が高くスタイルの良い、東方世界では結構貴重な巨乳キャラw胸でかくて仕事さぼっては上司に怒られてるとか言ってどっかでよく聞く話だなあww髪の色も同じく赤系と共通点多いなあ。



■はじめての方、はじめまして理です。
今回は夏の本の追加という形での本になります。と言っても別に続き物という訳ではありませんのでご心配なく～

■今年の夏コミで買った某有名東方系サークル様の本の中で中国が咲夜さんのことを呼び捨てにしていた場面がありそれが妙に頭からはなれず、今回の本と相成りました。

■草香絵はHPの隠しページにあったモノを加筆修正したものです。まあ、ちょっとしたお遊びと大目に見てやってくださいませ～

■花映塚も新キャラたくさん、旧キャラの復活もたくさんとなかなかくいサービス、さすが神主様っと。
一番のお気に入り文々。というか、射命丸文さんなので、次回の本は文さん本になると思います。多分冬。

■それではこのようにつたない本をお手にとってくださりありがとうございました。多少なりともお楽しみ頂けたらこれ幸い。

『ちやいなくいっく！追加注文』

発行 にゅうたいぶ研究所

発行者 理

発行日 2005/9/18 (日)

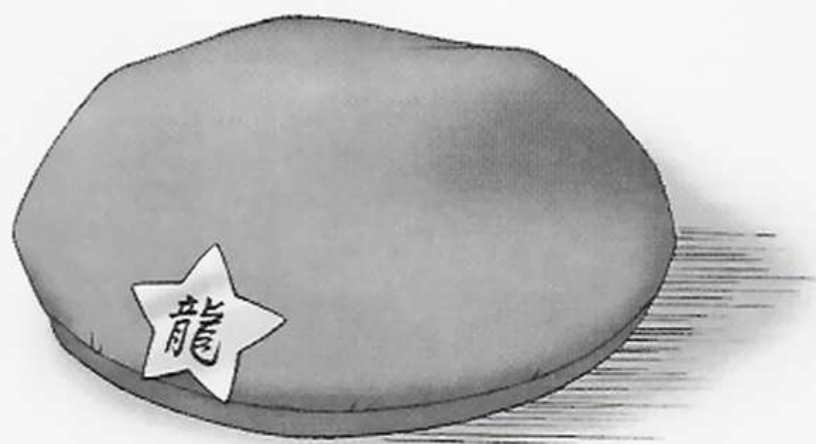
HP

<http://www.geocities.jp/kotowarinari/>

E-mail

kotowarinari@hotmail.com

無断転載一応禁止



にゅうたいふ
研究所

-FOR ADULT-